

平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

産業・観光

調 査 の 概 要

墨田区企画経営室広報広聴担当
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号
電話 03-5608-1111(代表)

《調査の概要》

- ◆調査対象 満20歳以上の区民
- ◆対象者数 1,500人
- ◆調査方法 調査員による訪問配布一訪問回収
- ◆回収数 824人
- ◆回収率 54.9パーセント
- ◆調査期間 平成28年7月15日(金曜日)から7月31日(日曜日)

《調査概要の見方》

- ◆数字はすべて回答者全員を100パーセントとした比率(パーセント)です。
- ◆四捨五入の関係で合計が100パーセントにならない場合があります。
- ◆回答選択肢を抽出して扱っている場合は、合計が100%に満たないことがあります。
- ◆複数回答の場合は、合計が100パーセントを超えることがあります。
- ◆“n”は調査回答者数のことです。

平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

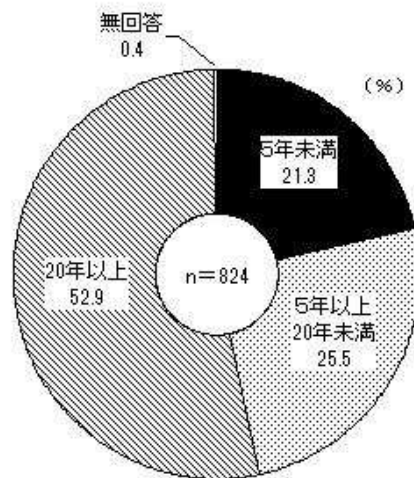
産業・観光

定 住 性

● 居住年数

「20年以上」の＜長期居住者＞が5割を超える

区民の居住年数構成は、「5年未満」の短期居住者が21.3%、「5年以上20年未満」の中期居住者が25.5%、「20年以上」の長期居住者が52.9%となっています。

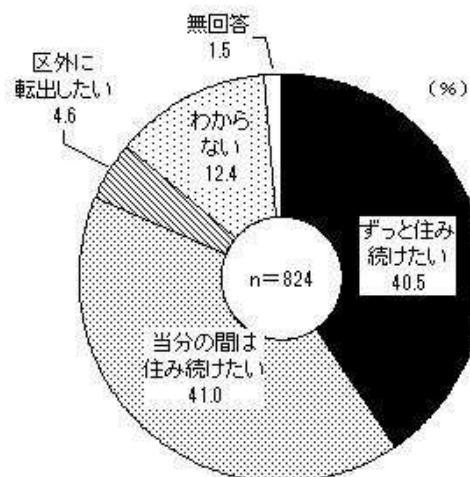


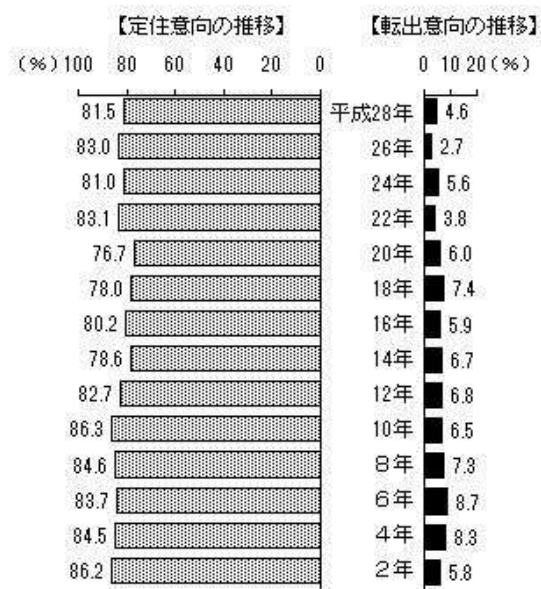
● 定住意向

＜定住意向＞が8割を超える

墨田区に「ずっと住み続けたい」(40.5%)が約4割となっており、これに「当分の間は住み続けたい」(41.0%)を合わせた＜定住意向＞(81.5%)は8割を超えています。これに対して「区外に転出したい」(4.6%)という＜転出意向＞はわずかとなっています。

平成2年からの推移をみると、＜定住意向＞は平成10年をピークに平成20年まで減少傾向でしたが、平成22年以降は8割を超えており、今回は前回より微減となっています。





平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

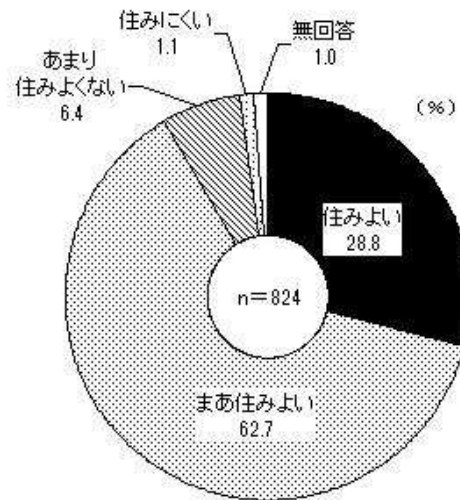
産業・観光

生活環境評価

● 住みよさ評価

住みごちに満足している人が9割を超える

現在の墨田区の住みごちについては、「まあ住みよい」(62.7%)とする人が6割を超えており、これに「住みよい」(28.8%)を合わせると、墨田区の住みごちに満足している人は91.5%となっています。

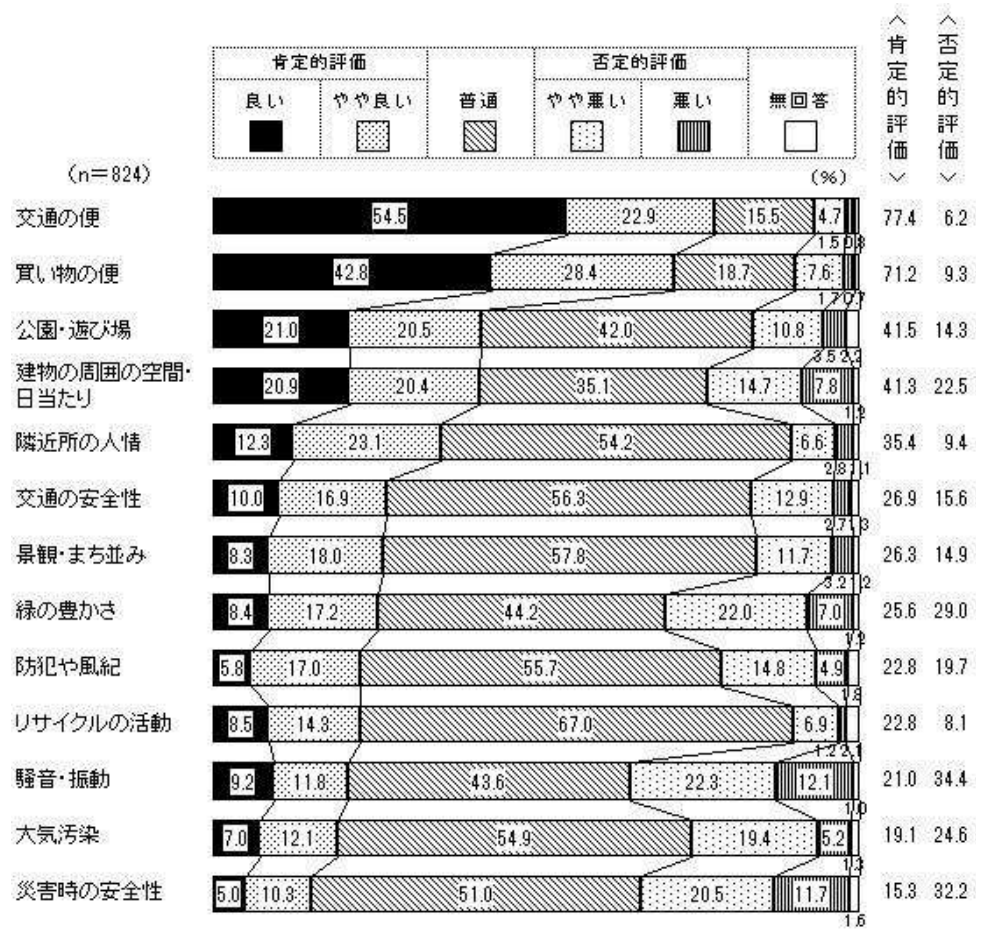


● 生活環境評価

「交通の便」では8割近くが＜肯定的評価＞

墨田区の生活環境に関する13の項目について、それぞれ5段階で評価してもらいました。「良い」と「やや良い」を合わせた＜肯定的評価＞は、「交通の便」(77.4%)で8割近くと最も高く、次いで「買い物の便」(71.2%)となっています。

一方、「悪い」と「やや悪い」を合わせた＜否定的評価＞では、「騒音・振動」(34.4%)、「災害時の安全性」(32.2%)、「緑の豊かさ」(29.0%)などへの評価が厳しくなっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

産業・観光

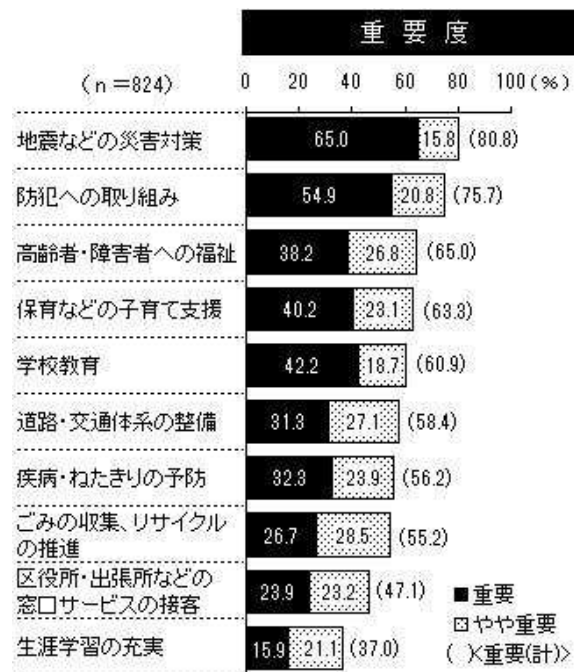
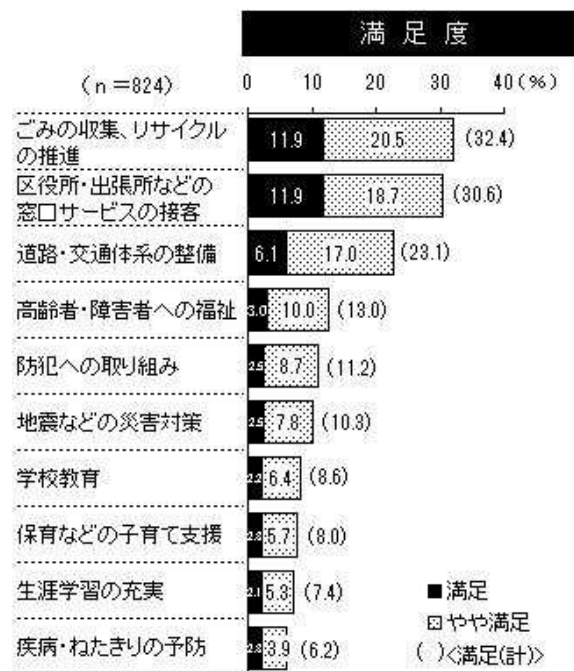
区 政 全 般

● 区の仕事の満足度と重要度

満足度は「ごみの収集、リサイクルの推進」、重要度は「地震などの災害対策」で高い

10項目に及ぶ区の仕事に関して、それぞれの満足度と重要度を5段階で評価してもらいました。満足度として「満足」と「やや満足」を合わせた＜満足（計）＞は、「ごみの収集、リサイクルの推進」(32.4%)で3割を超えて最も高く、次いで「区役所・出張所などの窓口サービスの接客」(30.6%)、「道路・交通体系の整備」(23.1%)、「高齢者・障害者への福祉」(13.0%)となっています。

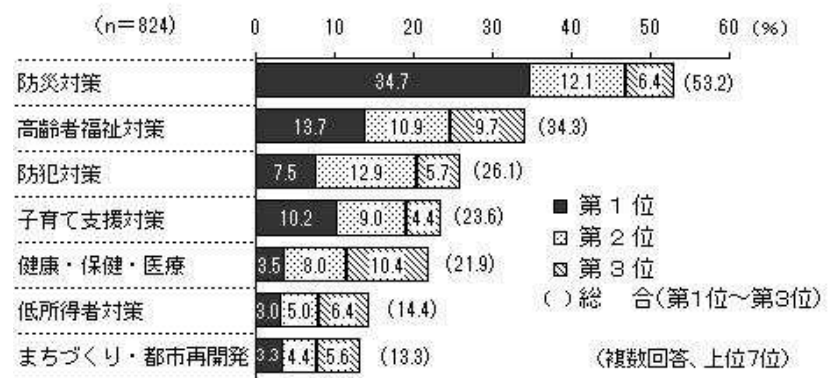
重要度として「重要」と「やや重要」を合わせた＜重要（計）＞は、「地震などの災害対策」(80.8%)で約8割と最も高く、次いで「防犯への取り組み」(75.7%)、「高齢者・障害者への福祉」(65.0%)、「保育などの子育て支援」(63.3%)となっています。



●力を入れるべき施策

「防災対策」が5割を超える

区の施策のうち特に力を入れてほしいと思うものを第1位から第3位までの順位をつけてもらいました。第1位から第3位までの総合では、「防災対策」(53.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「高齢者福祉対策」(34.3%)、「防犯対策」(26.1%)、「子育て支援対策」(23.6%)、「健康・保健・医療」(21.9%)となっています。

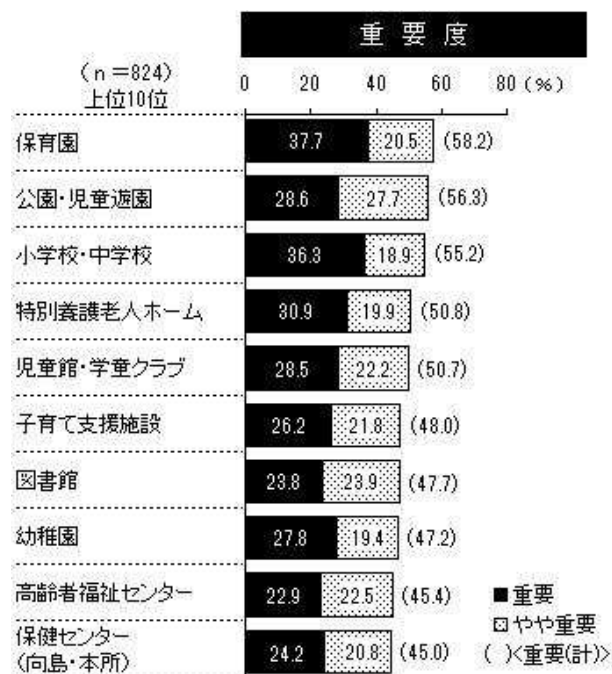
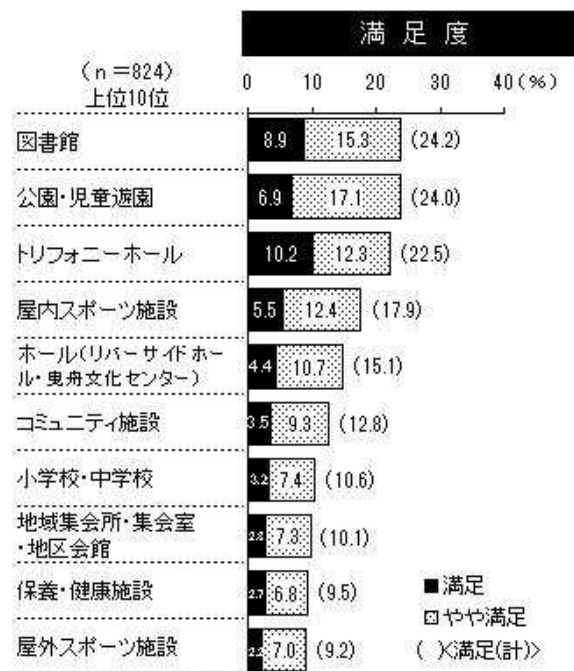


● 区の施設の満足度と重要度

満足度は「図書館」、重要度は「保育園」で高い

区の23の施設に関して、それぞれの満足度と重要度を5段階で評価してもらいました。満足度では「満足」と「やや満足」を合わせた＜満足(計)＞は、「図書館」(24.2%)で2割台半ばと最も高く、次いで「公園・児童遊園」(24.0%)、「トリフォニーホール」(22.5%)、「屋内スポーツ施設」(17.9%)となっています。

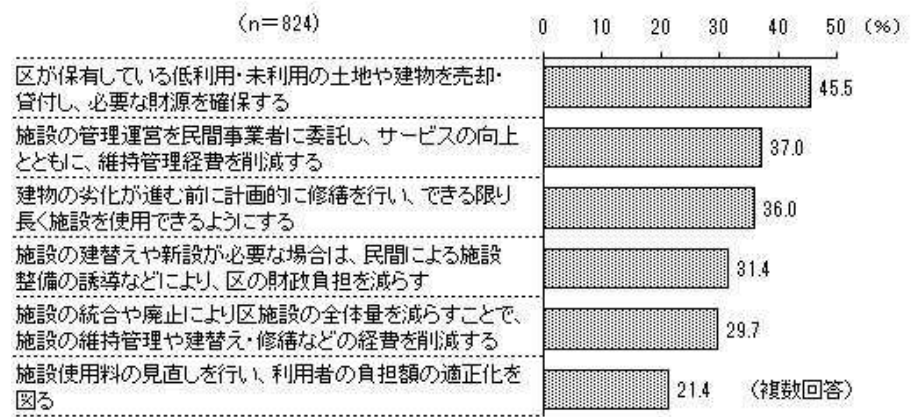
重要度では「重要」と「やや重要」を合わせた＜重要(計)＞は、「保育園」(58.2%)で6割近くと最も高く、次いで「公園・児童遊園」(56.3%)、「小学校・中学校」(55.2%)、「特別養護老人ホーム」(50.8%)となっています。



●将来にわたり施設サービスを提供していくための取り組み

「区が保有している低利用・未利用の土地や建物を売却・貸付し、必要な財源を確保する」が4割台半ば

将来にわたり施設サービスを提供していくための取り組みについて聞いたところ、「区が保有している低利用・未利用の土地や建物を売却・貸付し、必要な財源を確保する」(45.5%)が4割台半ばで最も高く、次いで「施設の管理運営を民間事業者に委託し、サービスの向上とともに、維持管理経費を削減する」(37.0%)、「建物の劣化が進む前に計画的に修繕を行い、できる限り長く施設を使用できるようにする」(36.0%)となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

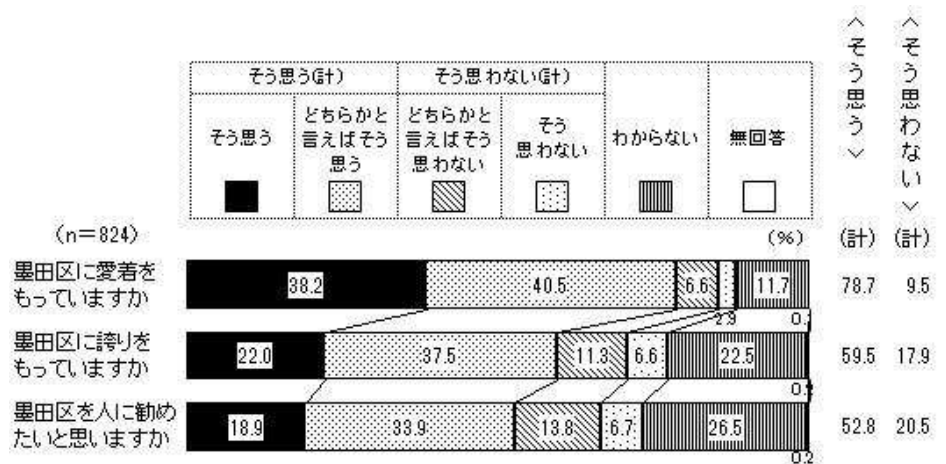
調査の概要
定住性
生活環境評価
区政全般
シティプロモーション・地域力の向上
防災対策
防犯対策
区政情報
環境・リサイクル・清掃
福祉
健康づくり
子育て支援
教育
産業・観光

シ テ ィ プ ロ モ ー シ ョ ン ・ 地
域 力 の 向 上

●区に対する気持ち

墨田区に愛着を持っている人が8割近く、誇りを持っている人が6割、人に勧めたいと思う人が5割を超える

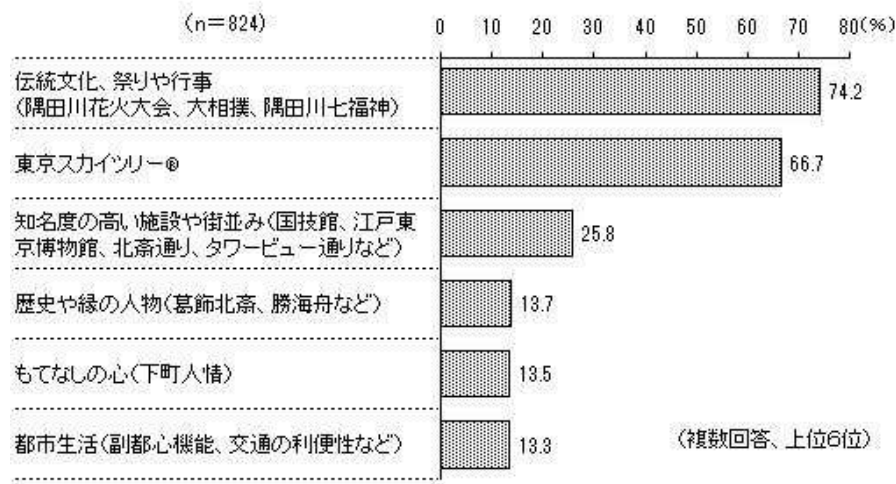
墨田区に対する気持ちを3つの項目に分けて聞きました。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせたくそう思う(計)>は、「墨田区に愛着をもっていますか」では8割近く、「墨田区に誇りをもっていますか」では6割、「墨田区を人に勧めたいと思いますか」では5割を超えています。



●区外の人にアピールしたいものごと・特徴

「伝統文化、祭りや行事(隅田川花火大会、大相撲、隅田川七福神)」が7割台半ば

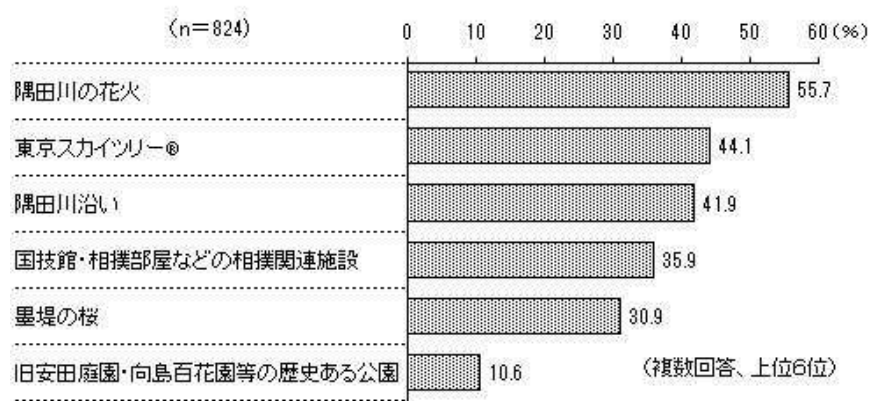
区外の人にアピールしたい墨田区のものごと、特徴を聞いたところ、「伝統文化、祭りや行事(隅田川花火大会、大相撲、隅田川七福神)」(74.2%)が7割台半ばで最も高く、次いで「東京スカイツリー(R)」(66.7%)、「知名度の高い施設や街並み(国技館、江戸東京博物館、北斎通り、タワービュー通りなど)」(25.8%)となっています。



●「すみだ」らしいと思う景観・街並み

「隅田川の花火」が5割台半ば

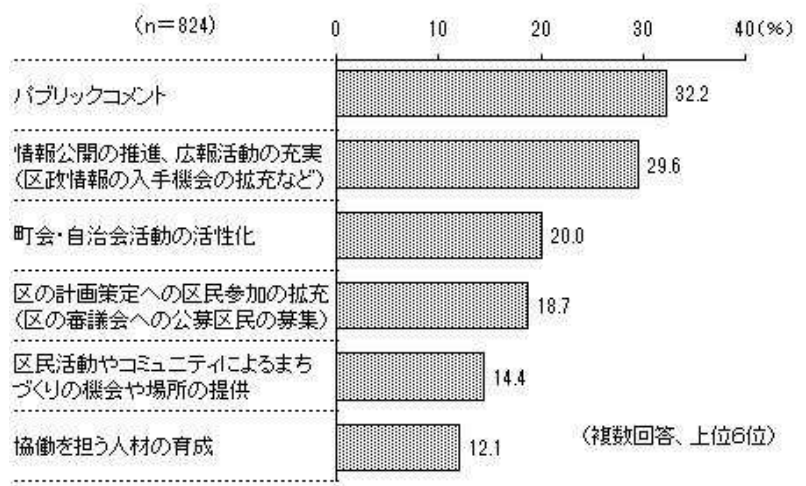
「すみだ」らしいと思う景観・街並みを聞いたところ、「隅田川の花火」(55.7%)が5割台半ばで最も高く、次いで「東京スカイツリー(R)」(44.1%)、「隅田川沿い」(41.9%)、「国技館・相撲部屋などの相撲関連施設」(35.9%)、「墨堤の桜」(30.9%)となっています。



●協働による区政推進のための重要な取り組み

「パブリックコメント」が3割を超える

区民と区が協働して区政を推進していくために、どのような取り組みを進めるべきか聞いたところ、「パブリックコメント」(32.2%)が3割を超えて最も高く、次いで「情報公開の推進、広報活動の充実(区政情報の入手機会の拡充など)」(29.6%)、「町会・自治会活動の活性化」(20.0%)、「区の計画策定への区民参加の拡充(区の審議会への公募区民の募集)」(18.7%)となっています。



調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

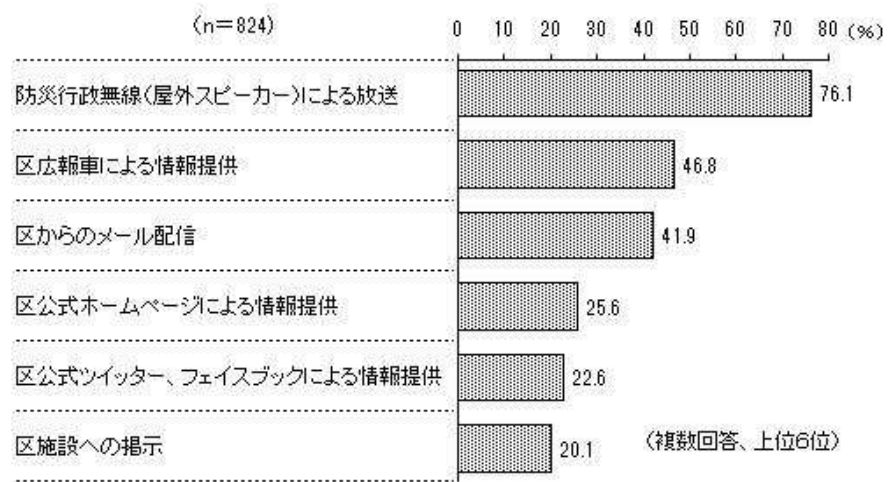
産業・観光

防 災 対 策

●効果的な防災情報の取得方法

防災行政無線（屋外スピーカー）による放送」が7割台半ば

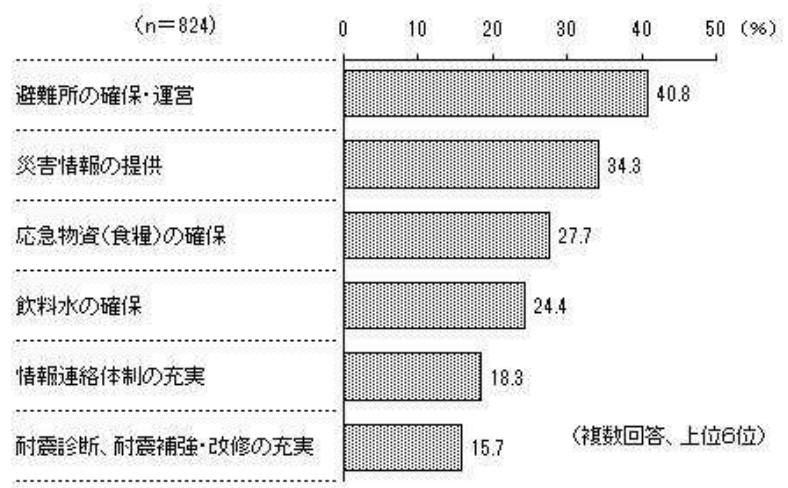
災害時に区の防災情報を得るためには、どの方法が効率的だと思うか聞いたところ、「防災行政無線（屋外スピーカー）による放送」（76.1%）が7割台半ばで最も高く、次いで「区広報車による情報提供」（46.8%）、「区からのメール配信」（41.9%）、「区公式ホームページによる情報提供」（25.6%）となっています。



●防災対策についての要望

「避難所の確保・運営」が約4割

防災対策として力を入れてほしいと思うことを聞いたところ、「避難所の確保・運営」（40.8%）が約4割で最も高く、次いで「災害情報の提供」（34.3%）、「応急物資（食糧）の確保」（27.7%）、「飲料水の確保」（24.4%）、「情報連絡体制の充実」（18.3%）となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

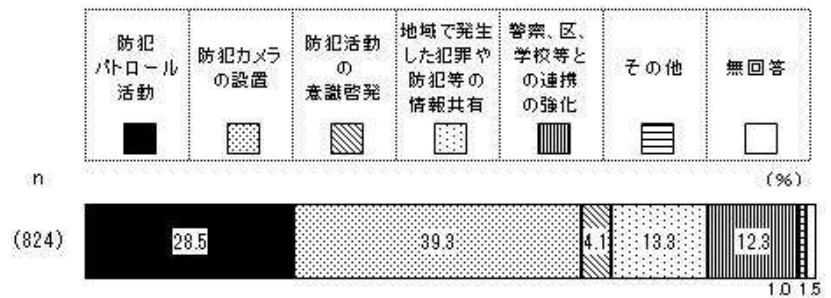
産業・観光

防 犯 対 策

●効果的な地域の取り組み

「防犯カメラの設置」が約4割

安全で安心な地域社会を実現するために効果的だと考える地域の取り組みを聞いたところ、「防犯カメラの設置」(39.3%)が約4割で最も高く、次いで「防犯パトロール活動」(28.5%)、「地域で発生した犯罪や防犯等の情報共有」(13.3%)となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

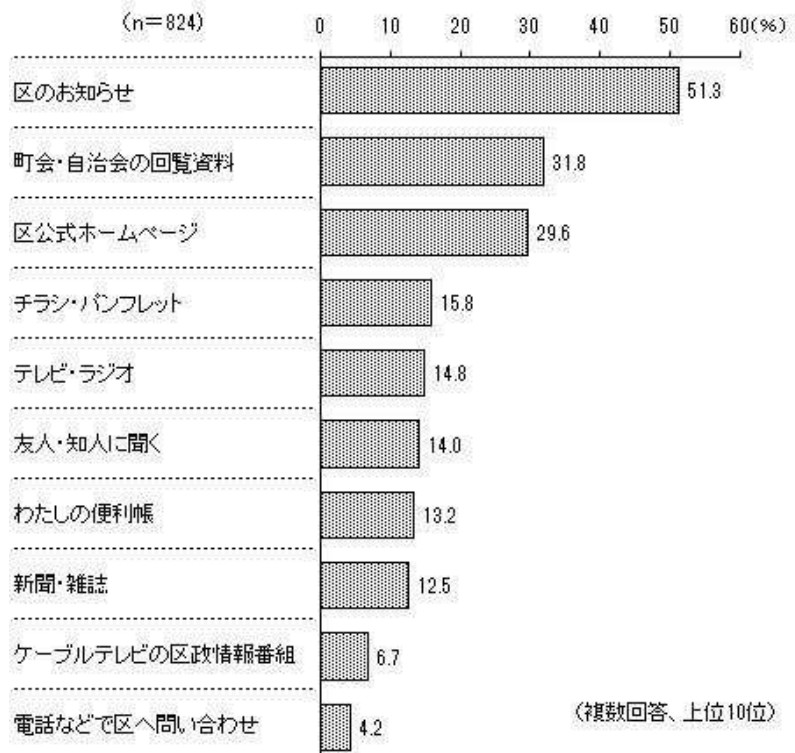
産業・観光

区 政 情 報

●区政情報の入手方法

「区のお知らせ」が5割を超える

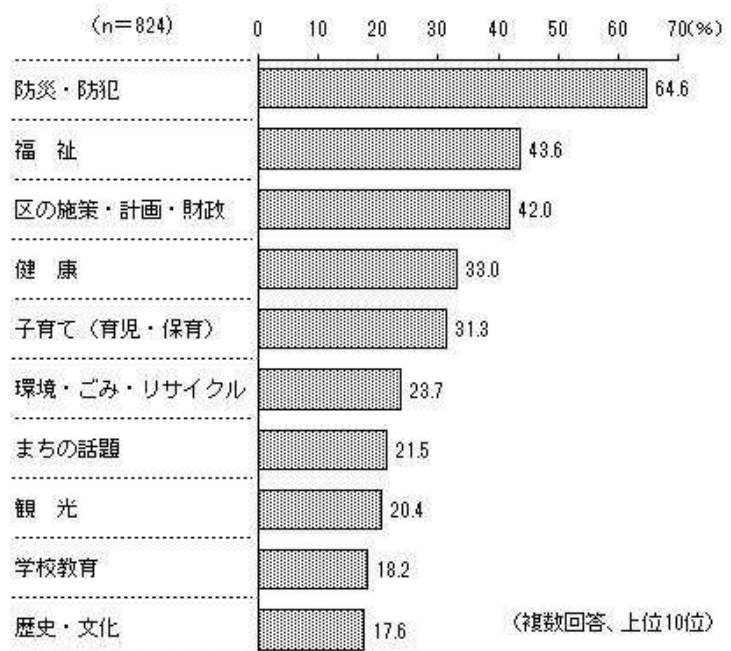
区政情報の入手方法を聞いたところ、「区のお知らせ」(51.3%)が5割を超えて最も高く、次いで「町会・自治会の回覧資料」(31.8%)、「区公式ホームページ」(29.6%)、「チラシ・パンフレット」(15.8%)となっています。



●区が充実させるべき情報

「防災・防犯」が6割台半ば

区が行う情報発信で、どのような情報を充実させていくべきか聞いたところ、「防災・防犯」(64.6%)が6割台半ばで最も高く、次いで「福祉」(43.6%)、「区の施策・計画・財政」(42.0%)、「健康」(33.0%)、「子育て(育児・保育)」(31.3%)となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

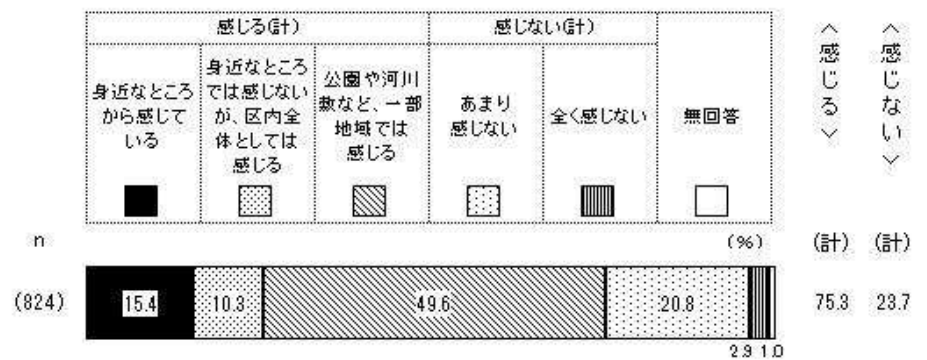
産業・観光

環境・リサイクル・清掃

●区内で感じる「水と緑に豊かさ」

「公園や河川敷など、一部地域では感じる」が5割

区内において、どの程度「水と緑に豊かさ」を感じるか聞いたところ、「公園や河川敷など、一部地域では感じる」(49.6%)が5割で最も高く、これに「身近なところから感じている」(15.4%)と「身近なところでは感じないが、区内全体としては感じる」(10.3%)を合わせたく感じる(計)75.3%は7割台半ばとなっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

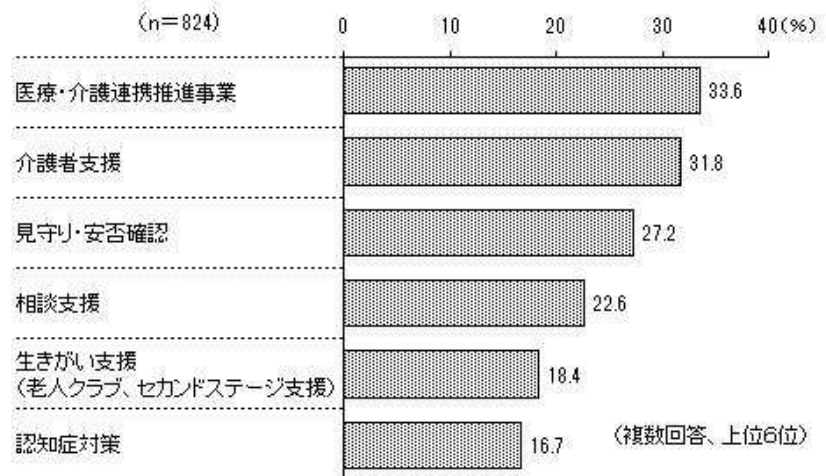
調査の概要
定住性
生活環境評価
区政全般
シティプロモーション・地域力の向上
防災対策
防犯対策
区政情報
環境・リサイクル・清掃
福祉
健康づくり
子育て支援
教育
産業・観光

福 祉

●区が取り組むべき高齢者福祉施策

「医療・介護連携推進事業」と「介護者支援」が3割を超える

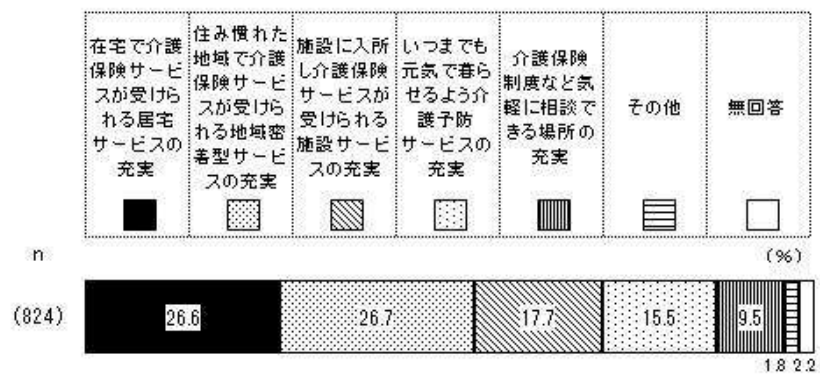
区が力を入れるべき高齢者福祉施策を聞いたところ、「医療・介護連携推進事業」(33.6%)と「介護者支援」(31.8%)が3割を超えて高く、次いで「見守り・安否確認」(27.2%)、「相談支援」(22.6%)、「生きがい支援(老人クラブ、セカンドステージ支援)」(18.4%)となっています。



●介護保険制度で充実すべきこと

「住み慣れた地域で介護保険サービスが受けられる地域密着型サービスの充実」と「在宅で介護保険サービスが受けられる居宅サービスの充実」が3割近く

高齢者が安心して介護保険制度を利用するために、どのようなことに重点をおくべきだと思うか聞いたところ、「住み慣れた地域で介護保険サービスが受けられる地域密着型サービスの充実」(26.7%)と「在宅で介護保険サービスが受けられる居宅サービスの充実」(26.6%)が3割近くで高く、次いで「施設に入所し介護保険サービスが受けられる施設サービスの充実」(17.7%)、「いつまでも元気で暮らせるよう介護予防サービスの充実」(15.5%)となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

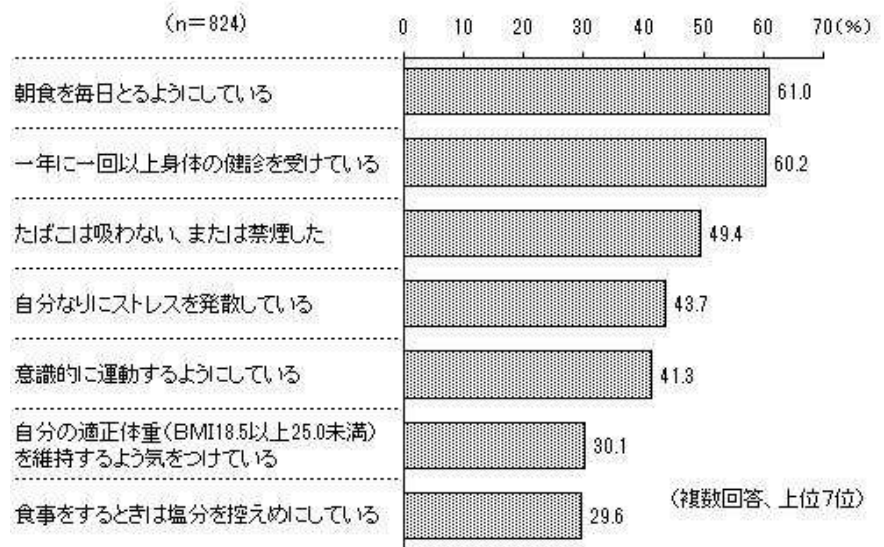
産業・観光

健康づくり

●日頃、健康のためにやっていること

「朝食を毎日とるようにしている」が6割を超える

日頃、健康のためにやっていることを聞いたところ、「朝食を毎日とるようにしている」(61.0%)が6割を超えて最も高く、次いで「一年に一回以上身体の健診を受けている」(60.2%)、「たばこは吸わない、または禁煙した」(49.4%)、「自分なりにストレスを発散している」(43.7%)となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

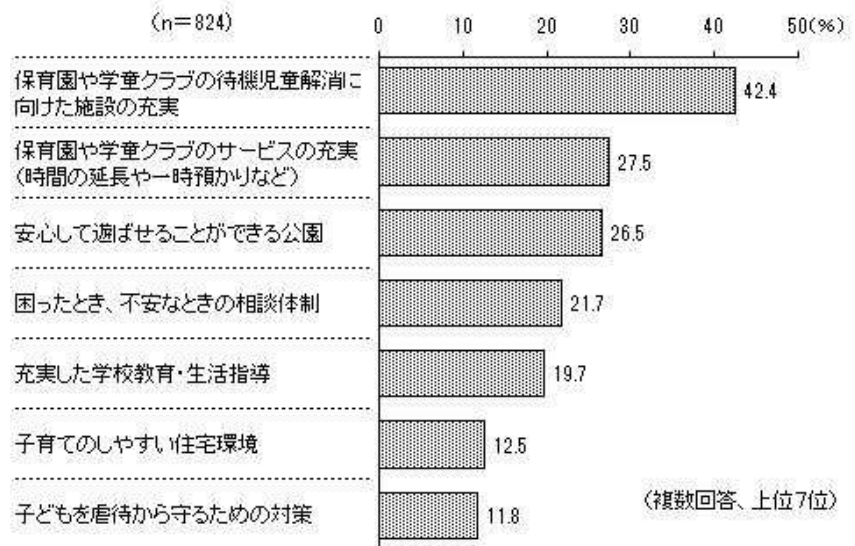
産業・観光

子 育 て 支 援

●子育てに関する施策要望

「保育園や学童クラブの待機児童解消に向けた施設の充実」が4割を超える

充実を望む区の子育て施策を聞いたところ、「保育園や学童クラブの待機児童解消に向けた施設の充実」(42.4%)が4割を超えて最も高く、次いで「保育園や学童クラブのサービスの充実(時間の延長や一時預かりなど)」(27.5%)、「安心して遊ばせることができる公園」(26.5%)、「困ったとき、不安なときの相談体制」(21.7%)、「充実した学校教育・生活指導」(19.7%)となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

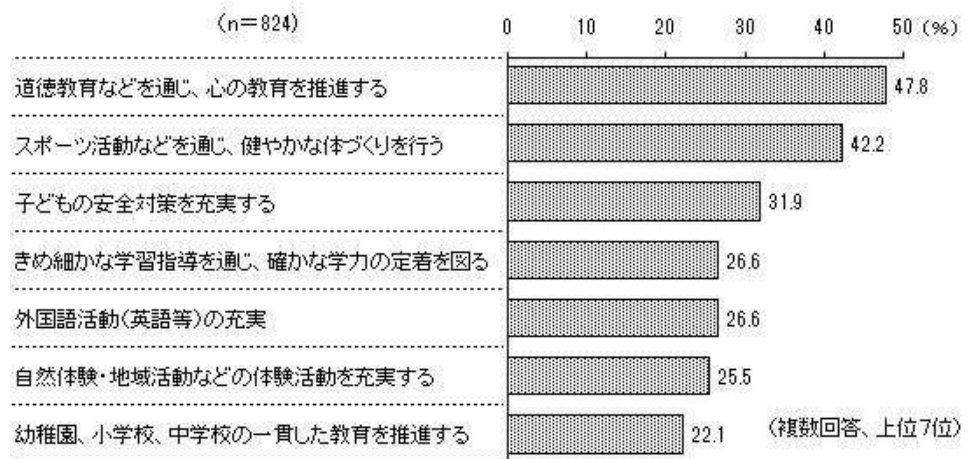
産業・観光

教 育

●今後の区立学校での取り組み

「道徳教育などを通じ、心の教育を推進する」が5割近く

これからの区立学校で力を入れて取り組んでほしいことを聞いたところ、「道徳教育などを通じ、心の教育を推進する」(47.8%)が5割近くで最も高く、次いで「スポーツ活動などを通じ、健やかな体づくりを行う」(42.2%)、「子どもの安全対策を充実する」(31.9%)、「きめ細かな学習指導を通じ、確かな学力の定着を図る」と「外国語活動(英語等)の充実」(ともに26.6%)となっています。



平成28年度
墨田区の世論 2016

= 第24回 墨田区住民意識調査結果概要 =

調査の概要

定住性

生活環境評価

区政全般

シティプロモーション・地域力の
向上

防災対策

防犯対策

区政情報

環境・リサイクル・清掃

福祉

健康づくり

子育て支援

教育

産業・観光

産 業 ・ 観 光

● 推進すべき観光施策

「交通環境の整備(コミュニティバス、レンタサイクル、船の運行など)」と「観光案内所の設置」が3割台半ば

推進すべき観光施策を聞いたところ、「交通環境の整備(コミュニティバス、レンタサイクル、船の運行など)」(34.6%)と「観光案内所の設置」(34.0%)が3割台半ばで高く、次いで「観光イベントの実施」(32.4%)、「観光情報の発信(印刷物・ホームページ)」(31.9%)、「快適に歩ける環境の整備(親水テラスや歩道など)」(29.0%)となっています。

